

子育て世代の 覆面座談会

昨今、弁護士業界において、若手の弁護士を中心に業務と並行して育児に携わる会員も増えているが、業務の多忙さが故、育児の悩みを共有することも少ない。

そこで、育児と業務の調整、子どもを保育園に入れるための活動(いわゆる「保活」)、その他様々な課題

については、各弁護士個人で対処することも多いが、それぞれどのように対応しているのだろうか。

今回は、現在育児と正面から向き合っている様々な立場の弁護士から日ごろの育児に関する問題を語り合ってもらい、弁護士会に対する意見や育児にかかわる会員へのアドバイスを聞くことにしたい。



Aさん(女性)
女性弁護士、2歳の女の子のママ。
中規模事務所のアソシエイト。
単身子育て中。子どもは認可保育園。



Bさん(男性)
男性弁護士、4歳、1歳の男の子のパパ。
公務員(非常勤)。
妻も弁護士。共働き。
上の子は幼稚園、下の子は認可保育園。



Cさん(女性)
女性弁護士、4歳の女の子のママ。
小規模事務所のパートナー。
夫は会社員。共働き。
子どもは認可保育園。



Dさん(女性)
女性、1歳の女の子のママ。
任期付公務員。
夫はインハウス。共働き。
子どもは認可保育園。

(いずれも平成29年2月当時。)

◆ 司会 ◆

澤井 裕 (65期) ●Hiroshi Sawai
広報室嘱託、NIBEN Frontier 編集委員

花井 ゆう子 (62期) ●Yuko Hanai
広報室嘱託、NIBEN Frontier 編集委員

1 初めに

司会 本日はお忙しいところお時間をいただき、どうもありがとうございます。司会を務めさせていただく広報室嘱託の澤井と申します。現在、8か月の息子の子育てにかかわっておりますが、本日、子育ての先輩である先生方のお話を聞けることを楽しみにしておりました。宜しくお願いします。本日は覆面座談会として、現在、子育てと仕事を両立しながら、普段思っていられっやことを率直にお話いただければと思っております。それではまず各先生方に現在のそれぞれのお立場とお子さんの年齢等をお話いただければと思います。

Aさん 事務所では8年目のアソシエイトで、主に2人のパートナーの事件を共同で受任して事件を扱っています。事務所の規模的には中規模の事務所です。もうすぐ2歳半になる女の子がいます。子どもは1人です。

Bさん 今、仕事は非常勤の公務員として働いています。非常勤と言いましても基本的には普通の正社員の方と同じようにフルタイム

です。現在、弁護士登録もしております、中学時代の同級生が経営している事務所に所属しています。

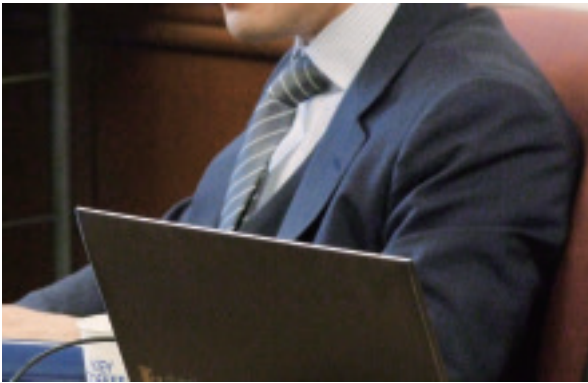
弁護士をしている妻と共働きで、子どもは上の子は4歳で、下の子は1歳です。

Cさん 4歳の女の子が1人います。事務所は小規模で、それぞれ経費を出しており、各自自由にやっています。夫は会社員です。親は近くにいないので、その辺は苦勞しています。

Dさん 私は昨年11月から任期付公務員に就任しています。その前は事業会社でインハウスをしていました。インハウス時代は時短勤務でしたが、今はフルタイムで勤務しております。ただ、子どもが1歳半で、認可保育園に通っているの、ほぼ残業はしていません。夫はインハウスなので、協力して育児にかかわっています。あとは双方の親が近くに住んでいるので、援助してもらっています。

2 現在の勤務状況等

1 平日のスケジュールについて



司会 今お聞きしたように、皆さんの立場がそれぞれ違うので、1日のスケジュールも異なっていると思います。1日の大まかなスケジュールをお話いただけますか。

Dさん 朝は6時すぎに子どもと一緒に起きて、家を出るのが、だいたい7時半ぐらいです。保育園へ子どもを送ることは夫の担当なので、私は直接庁舎に行きます。

Aさん うらやましい(笑)。

Dさん 始業時間は9時半ですが、残業できないので8時すぎに出勤して、メールをチェックしたり、前日にできなかった仕事をしていきます。終業時間が6時15分なので、6時半ぐらいに庁舎を出まして、その後保育園のお迎えに行きます。

延長保育を利用しています。7時すぎぐらいにお迎えに行って、急いで家に帰ってご飯を作って食べて、お風呂に入れて、寝かせるのは9時半をちょっと過ぎたりしてしまいます。その後、いろいろ片づけをしたり、掃除をしたりして、12時には寝るというスケジュールです。

Cさん 私は7時半に起きます。子どもは7時50分ぐらいにフジテレビの『めざましテレビ』の『きょうのわんこ』で起きるので、「早く」って30回ぐらい言いながら準備を急かしますが(笑)、保育園に行くのはだいたい9時ぐらいです。事務所に着くのが、10時ぐらいですね。

事務所には、10時から5時半ぐらいまでいます。保育園のお迎えは6時半です。帰って子どもにDVDを見せながらご飯を30分ぐらいで作り、食べさせるともう8時ぐらいになってしまい、ちょっと遊んで9時からお風呂に入り、寝るのは10時です。10時半ぐらいになってしまうこともあります。その後家事や残った仕事をして寝るのが1時ぐらいになります。

司会 朝は遅めで、夜寝るのも遅め、ですね。

Cさん 子どもが小学校に行ったら早くなると思うので、そのタイミングで巻き返そうかなと思って(笑)。

司会 自分が起きるタイミングではなく、お子さんが起きるタイミングに合わせざるを得ないですね。

Bさん 私も7時半から8時ぐらいに起きます。おながすいたと言って、上の子にたたき起こされます(笑)。私は9時前に家を出るのですが、同じ敷地内にある保育園と幼稚園への子どもの送り迎えは妻がやっております。

下の子が通っている保育園は多少早い時間帯でも預けられるのですが、上の子が通っている幼稚園は9時ぐらいでないと預けられない

ため、私の勤務開始時間に間に合わないのです。迎えに行くことも勤務時間との関係で難しいです。

勤務開始時間は9時半なので、その少し前ぐらいに、登庁します。勤務終了時間が6時15分ですが、8時ぐらいまで残業しています。9時前には家に着いていることが多いです。早めに帰ることができたときは、子どもをお風呂に入れて、出てから寝かしつけをするというところまでやります。間に合わないときには先に妻と子どもが寝ているという感じです。

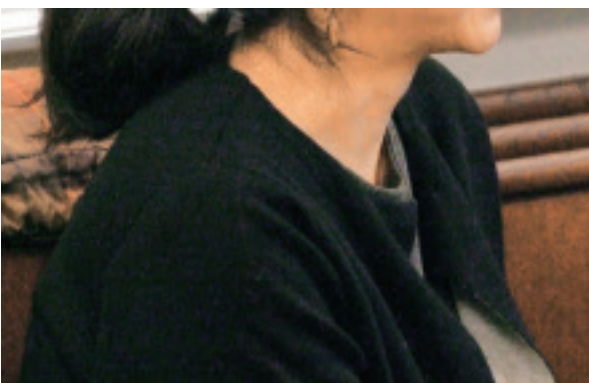
子どもが寝た後に、家の片づけをしたり洗い物をしたり、子どもの洗濯物がものすごく溜まってしまうので、夜中に洗濯をして干したりもしています。12時ぐらいには寝るようにしています。

Aさん 週に何回洗濯しているんですか。

Bさん 毎日です。(一同どよめく)

司会 お子さんの洗濯物が膨大なんですね。

Bさん 子どもが2人もいると確実に毎日洗濯しないと、回らないです。干せなくなります。



司会 司会の澤井先生は7時半のお風呂の時間に帰ることだけでもあたふたしていますよね。

司会 現実問題7時半に帰るのは難しいので、いつも泣きそうです。実際に帰ることができない方が多いです。

Bさん 帰って翌日に残業するか、それともある程度のところまでやって毎日帰るかという選択をして、帳尻合わせは絶対必要になりますね。公務員の場合には、土日で埋め合わせができないので、なおさら調整が難しいです。

司会 公務員の場合、勤務時間に遅れるこ

とができないので、事務所勤務の弁護士とは違った辛さがありますね。

Bさん 事務所勤務の妻も朝起きる時間は同じです。まず上の子のお弁当の準備をして、身支度を整えて9時ぐらいに家を出て、上の子と下の子を保育園と幼稚園に預けて、その後9時半ぐらいに勤務を始めるという流れだと思います。

妻は、6時に迎えに行った後に、買い物をして家に帰り、夕食を食べさせ、お風呂も入れて、途中で私が帰ってきて加わって、寝かしつけをしながら1日が終わっていきます。ただ、妻はどうしても忙しいときは夜中まで仕事をしていることもちょくちょくあります。

司会 スケジュールが違う夫婦が、うまく時間をやりくりしてやられているというところには頭が下がります。洗濯物の話は衝撃的でした。

Aさん 毎日洗濯をして干しているというのは本当にすごい。

Dさん 保育園では汚れていなくても強制的に着替えさせられたりするから、洗濯物は溜まる一方ですよ。お食事エプロンを1日3枚、ハンカチ持参もありますしね。

Bさん 登園用の服もあつたりしますよね。あと、上の子はお弁当を持っていくので、洗わないといけないものが増えてくる。

Aさん うちの保育園はお着替え5着ですが、汚れたりするから毎日10着持っていきます。その分、洗わないといけなくなりますしね。

司会 服を収納する場所もないですよ。

Dさん 頑張って洗濯しないと。

Aさん 朝は、だいたい8時半には出て、子どもを保育園に連れて行き、9時には職場に行きます。仕事が終わるのが7時近くになっていたりして、慌てて飛び出して保育園に迎えに行くと、家に帰ると8時近くになってしまいます。食事を終わらせて、9時にはお風呂に入れるのですが、寝かせるのは10時半近くになることが多いです。今はまだお昼寝をしているので、寝不足にはなっていないですが、もう少し改善していきたいです。

司会 職場から保育園が近いとしても、9時

までに職場に着くのは大変ですね。

Aさん 出張がある場合には、8時には保育園に連れていくこともあり、フルで保育園を活用しています。

司会 私の場合、子どもが起きるのが7時40分くらいです。朝はおむつを替えたりとか、ミルクをあげたりしています。子どもは、まだ生後8か月で、保育園に入所させていないので、保育園へ送る準備などはありません。朝食は私か妻のどちらか手が空いている方が準備して、8時40分ぐらいに家を出て、9時20分ぐらいに事務所に出るというスケジュールです。妻はまだ育休中なので、日中は子どもと家にいます。

7時半までには帰りたと思うんですけど、仕事を終えて帰るのは早くても8時とか、遅いときは10時に帰ることもあります。子どもは7時半から8時に風呂に入って、だいたい9時前にはもう寝ています。なので、平日夜、私が子どもに会うことはほとんどありません。家に帰って着替えるときには、物音を立てずに着替えてという、妻の指導にしたがって静かにしています（笑）。

夜は、洗い物をして12時ぐらいに寝るというスケジュールです。

これから保育園に入るようになったら、保育園へ送っていくことは私の方がやらなきゃいけないかなとは思っています。妻はインハウスの弁護士なので、復帰して子育てと両立する方法などを今日はさらにお聞きしたいと思っています。

司会 私も、2人の保育園児がいますが、どうしても早く帰れない日もあります。遅くに帰って子どもの寝顔しか見られないときは、何のために働いているんだろうとか考えてしまうこともあります。

2 出産前後の仕事内容の変化、業務調整について

司会 皆さんの1日のスケジュールをお聞きして、業務の調整に非常に気を使われていることが分かりました。次にお聞きしたいのは、

子どもが生まれる前後で、仕事の内容や量が、どのように変わったのかをお話しいただきたいです。

Aさん 上の先生が私の手一杯な状況を見て、仕事量を控えてくださったので仕事量は相対的に減ったと思います。従前は平均すると終電で帰っていましたが、たまに朝まで仕事をしているときもありました。ただ、飲み会に参加した後、事務所に戻って仕事をすることもあり、効率的な作業ではなかったかもしれません。

仕事の質は、今も変わっていないと思います。今も自分がやりたいと言って積極的にやらせてもらっている仕事もあります。ただ産後1年目は迷惑をかけたくなかったので、タイムチャージ制の体力勝負の仕事は、控えていました。まとめると、仕事の量、質での大きな変化はありませんが、短時間で効率的に仕事をこなすというやり方によって変わったと思います。

司会 仕事量は減ったとしても基本的に勤務条件は変わっていないということですか。

Aさん 産後1年目ぐらいは前年の年俸のままでしたが、今は従前通りに戻っています。

司会 現在は、意識されて短時間で業務を終わらせるようになったということですね。現在、飲み会に行く時間は相当減りましたよね。

Aさん もう全然ないです。

Bさん 私の場合には仕事を始めた段階で子どもがいたので、子どもが生まれてから仕事が増えたか減ったかという問題はありません。ただ子どもがいると必然的に子どもの面倒を見ないといけないので、私がやらないと妻がやることになります。ですから、勤務時間後の時間や土日は、子育てにあてなきゃいけないと思っています。そうすると、1週間の中で仕事にあてられる時間というのは、極めて制限されているなどというのは常日ごろから意識しています。

子どもから見ると、父親は相当仕事で忙しいと見えるようで、分かりやすく「仕事に行かないで」とか、「早く帰ってきて」とか言われ

ます。そう言われると、非常につらいですね。

司会 先生が奥様に比べて残業をされることが多いから、そういうふうに見えるのでしょうか。

Bさん 子どもから見ると、妻としかコミュニケーションを取っていないと考えているのだと思います。もう4歳になるので、分かりやすくその気持ちを伝えてくるので、寂しい思いをさせているんだなというのは感じています。

司会 私は、子どもが生まれる前は、飲み会にしょっちゅう行っていました。今は制限するようになりました。先生はどうか。

Bさん 工作上必要な飲み会以外は、行かなくなりました。

行くときも妻のスケジュールを確認して、生活に支障がないように心がけています。妻も仕事以外にも子どもの保育園、幼稚園でのイベントに参加する必要があるので、非常に気を使っています。

司会 話は戻りますが、お子さんから寂しい思いを聞いたときにも、どうしても仕事を優先しなければならないときはありますよね。そこはお子さんにどういうふうに話していますか。

Bさん おもちゃとかを買ってあげるときに、「おもちゃを買うにはお金がいるよね、そのお金は仕事をしないともらえないんだよ」と伝えます。そうすると子どもは、「分かった、パパ、お仕事頑張っていっぱい稼いできてね」と言うんです。そういう意識付けをしています(笑)。

司会 説得力のある伝え方で、参考にさせていただきます(笑)。

Bさん 子どもも私が仕事を優先しなければならないときがあることは分かっているんだけど、構ってほしいということなんですよね。4歳になると、いろいろちゃんと分かってくるみたいですね。

Cさん 私は町弁なので、子どもが生まれる前と後の仕事の内容は、変わらないです。ただ、仕事の量としては妊娠が分かった時点で手持ち事件を減らしていき、出産の2か月ぐら

い前に事件を終えられました。債権者集會に1回だけ行くとかは、ほかの事務所の先生に頼んだりしました。生後3か月ぐらからは子どもを保育園に入れ、少しずつ事務所に行くようにして、最初は週2回か3回くらい事務所に行っているのを、半年ぐらいかけて週5回事務所に行くようにしていきましてので、仕事量は半年かけて減らし、半年かけて元に戻したという感じでした。

次年度の4月からフルで事務所に出るようになったんですけど、同じ年度の3月までは週2~3回くらい行きながら、でも娘は保育園に週5回行くので、残り2日は自宅にいながら依頼者に電話やメールでやりとりをしていました。自分としては、わりと無理なく週5回のペースには戻ったかなという感じはしています。

顧問先はいないので、定期的な収入はゼロになった時期もあります。事務所からは、産後1年ぐらいは経費を入れなくていいと言ってもらっていたので、経費は全く入れていませんでした。産後1年ぐらいたってから仕事量に応じて経費を入れることで許していただいたので、事務所には感謝しています。

うちの事務所のボスは遅くまで仕事をすることを評価するわけではないので、8時ぐらまでいると、今日はどうしたのみたいなことも言われていました(笑)。今でもそんなに勤務時間は変わらないのですが、依頼者からの電話がかかってこなくなる5時すぎぐらに家に帰らなければならないため、書面を作成する時間が取れないことがかなり痛いです。結局子どもを寝かしつけた後の11時から2時までの間に締め切りに追われて書面を書いて、体調を崩して風邪をひくみたいな形を繰り返しているような気がします。持って帰って仕事ができるのも善しあしですね。

夜の時間がなかなか使えないので、飲み会に行ったりするのも少ないですし、夕方に入る委員会の会議もほとんど出られませんが、そこは自分の中で割り切っています。

あと前よりは国選事件を含め、刑事事件の受任件数は減ったなと思っています。

司会 刑事事件の被疑者で、何度も来てほ

しいと連絡してくる人に対しては、どういう対応をしているんですか。

Cさん 子どもがいるから多くは来られないとって初めにくぎを刺しておくことはあります。ただ、子どもがいることを知られるのも、微妙ですよ。事情があって来られないというオーラを出す（笑）。

あとは、夕方に自分の携帯から電話しなきゃいけないのがすごく嫌ですね。子どもに今から絶対言葉を発するんじゃないよって言いかけます。

Aさん 確かに携帯の番号を教える回数は増えました。

どうしても事務所の外からアクセスしないといけないことが増えますよね。

Cさん 発信通知をするから自分の携帯番号が知られてしまいますよね。

司会 先生方、国選は登録されていますか。

Aさん 今、いったん外していますね。

ただ、事務所の事件で刑事事件を私選で受任するので、刑事事件には触れています。

司会 接見を昼間に行くのは難しいですよ。もしくは夕方6時に行くとかですかね。ただ夕方は混み合っていて待機することもあるので、時間管理が難しいかなと思います。

Aさん 接見は朝必ず行くようにしています。

司会 私は時間的に難しくなって国選を外しています。

でも刑事弁護も勘どころみたいところや、細かい手続があったりするので、無理してでも続けていた方がよかったかとは思いますが。

Dさん 私は元々インハウスなので、2015年7月に出産して、2016年の4月に会社に復帰しましたが出産前後では、仕事の量、質ともに基本的に変っていません。会社ですと、ある程度産休経験者が多いため、会社自体がノウハウを持っているので、ありがたかったです。勤務地が遠かったため、時短を使って夕方の4時半までしか勤務できなかったのが、出産前と同じ量をこなすことは不可能です。仕事の優先順位をつけたり周りの人たちを巻き込むなど工夫しました。

例えば、作った資料は絶対共有にして、誰

でも見られるようにするとか、自分の今の進捗状況をチームに伝えていました。あと急な保育園からの呼び出しに対応できるよう、うまく引き継ぎをしていました。

司会 先生の場合、会社にノウハウがあったということで心配はなかったんですね。



Dさん 育休明けの女性の総合職の人の働きぶりなどをそれなりに見ていたので、そこまで不安ではなかったですね。むしろ産休前とあまりにも同じ量の仕事 came ので、こんなにどうやってやれと思っているんだと（笑）。

司会 先生は最初からインハウスですね。出産、子育てを想定して、インハウスを選択したのですか。

Dさん 将来的に結婚、出産というライフイベントがあったときに、少なくとも事業会社の方が、絶対働き続けやすいだろうと思ったのでインハウスを選びました。

司会 私の妻も長く勤めることからインハウスを選んでいました。

Dさん 就職当時、インハウスを志望する人って、いったん事務所を経験してからインハウスという方が多かったと思います。

司会 先ほどの話に戻りますが、仕事に周りを巻き込むためにほかに実践していたことはありますか。

Dさん 仕事の見える化です。資料はプリントアウトして、みんなに見せます。部下も意見を言いやすくなるし、助けてあげようという気持ちが芽生えるらしく、皆さん協力的でした。

司会 周りの巻き込み方がかなり上手なんですね。

Dさん 保育園が大変でというのを、お昼休みに言うとか（笑）。

司会 それだけ言われると（笑）。また資料も半強制的に見なければいけないと。

Dさん かわいそうでしたね、今思うと（笑）10歳上の人からそんなのが来たら、一応見ますもんね。

3 委員会活動について

司会 出産前は、インハウスとして、委員会活動に参加されていましたか。

Dさん 私は委員会活動もやっていました。まず、会社と交渉をして、委員会活動がいかに重要かというのを説いて、勤務時間中にも行かせてもらっていました。産後1か月ぐらいから、委員会活動に復帰して、ベトナム視察の企画では子どもを連れていきました。

ただ、復帰をしてからは夕方の委員会は出られないですし、時短勤務なので昼間も抜けることは無理でした。去年の11月に任期付公務員に転職して、委員会活動はやっていません。

司会 育児で大変な先生方から、委員会活動をしたくてもできないという悩みをよく伺うところではあります。ほかの先生はどうですか。

Cさん 2つの委員会を掛けもちしています。1つはわりと昼の集まりが多いので、部会だけ参加するなど、周囲に理解をしてもらって続けています。

また、委員会から作業を振られたら粛々とやるみたいな形でつないでいる部分はありません。ただ、夕方から会議がある委員会に出られないのはちょっと寂しいですね。イベントには、顔を出すようにしていますが、確実に参加の頻度が減っているという感じはします。時間のある時期は、子どもを連れてきて、部会でみんなに抱っこしてもらったりして参加していましたが、だんだん忙しくなってきちゃったのもあって、最近は、委員会まで手が回っていないですね。

司会 弁護士会としても、女性会員が出産

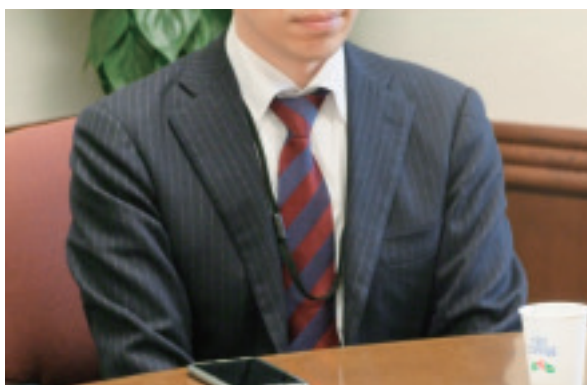
を機に委員会に出られなくなってしまうというのは残念なことなのだろうと思いますが、時間帯には工夫のしようはあると思います。ただ、時間帯を変えても、そもそも短い勤務時間をやりくりするのは難しいということですね。

Cさん 優先順位をつけて、自分が行かないと議題が困るという会議だけ出るようにしています。

司会 実際に会議に出る以外の参加方法を考えることが重要ですね。Skypeやテレビ会議を使っている委員会もあるようですが、使ったりしませんか。

Cさん それで参加したことは、まだないですね。事務所が遠ければそういうのがあっても面白いのかもしれないですけど。

司会 先生はどうですか。



Bさん 役所で働き始めると職務専念義務の関係で、勤務時間内でやるには年休を取ってやらないといけないのです。時間単位で取れるので、委員会活動自体は不可能じゃないんですけど、子どものイベントだとか、子どもが体調を崩したとかの理由で年休を取らないといけないことが多々生じるので、委員会のために取る時間的余裕はありません。役所で働いてからは、全く参加できていないです。

工夫次第でどうにかできるという話ではないですね。

Aさん 私も委員会には産前にたまたま顔を出していました。ただ、出産を機に委員会には1度も出られていなくて、メールでちょっと見ているぐらいですかね。

司会 今まで出ていた方が出られなくなる

のは本当にもったいないことなので、委員会として、短い時間でも参加して意見が述べられるような会議の仕方の工夫をしていく必要がありますね。

司会 委員会のメーリングリストができていて、事前に議案書が回されているところもあるようですし、会員サービスサイトの委員会専用のページに議事録などを載せて、毎回出席できていなくても、ある程度委員会の活動が分かるような工夫がもっと活用されるとよいですね。

3 保育園について

1 いわゆる保活について

司会 保育園の話というところも伺えればと思っています。私は区の認可保育園を申し込んだんですけども、不承諾通知を受け取りました。うちの子どもは生まれてすぐに不合格かと思いました（笑）。認可保育園に入る基準点の情報はどうやって得ていましたか。

Bさん 役所に電話をかけると、ポイントを教えてくださいます。翌年度に生かれます。

司会 基準点を見て、当落ラインを見て、今の点数を見れば、何をすれば足りるかというの分かるということですかね。

司会 皆さんは、先ほどの基準点を含め、どのように保育園の情報を得ていたのでしょうか。

Dさん 私は妊娠中から、かなり保活をやっていました。情報は、やっぱり役所に直接行って、保育課の人に直接聞くことが一番です。もちろん向こうも答えられないこともあるんですけど、意外といろいろ教えてくれたりして、前年度0歳児で入れなかった人がどれぐらいいるとか、そういうことは結構教えてくれました。さすがに個々の園のことまでは教えてくれませんでした。

自分の区の認証保育園の情報は、区のホームページに出ているので、電話をするなり何なりして、どういう基準でやっているかとか

も聞いて、見学の予約も、認可だとわりと幅広く受け入れてくれるんですけど、認証だと月に2回しか見学日は設けていませんので、本当に月並みですけど早め早めの対策が必要かなと思いました。

現実問題、認可保育園については、どこでもいいから入れたらありがたいのですが、前もって見学することで同じように見学に来ているママさんたちとつながりができて、情報を得たりとかはしやすくなるかなと思いました。

私の場合ありがたいことに認可保育園に入れました。提出する紙には第6希望ぐらいまで書けるので、第6希望まで書いて、仲良くなった保育課の方のところに持っていったら、これじゃ駄目だと。10個ぐらいは書かないと駄目よと言われて、最終的にはあんまり行きたくない保育園とか、遠すぎるなというところまで書き足して提出しました。

Aさん 要するに書く欄が6個しかないのに、それ以上に書くんですか。

Dさん 欄外に書きます。何でなのかは分かりませんが、足しげく役所に通っていると、いいことも教えてくれたりするなということはありません。

司会 いろいろ見て回られたということですが、自分の中で保育園を選ぶ基準は決めていたんですか。

Dさん 結局毎日送り迎えをしなければいけなかったんで、なるべく近くで、かつ、駅の近くにある保育園がいいなと思っていました。ただ、そういう保育園はきっと倍率も高いだろうから、ちょっと外したり、いろいろ考えていました。

司会 通いやすさというのを一番の優先順位にして、第10希望まで書かれて熱意が認められたということでしょうかね。

Cさん うちの子は生後3か月の9月から3月まで認証保育園にいて、次の4月から認可に入れたので認可に行っています。認証に入る時にできるだけ早い方がいいと言われてたんですけど、いざ電話をしてみると、生まれてからしか受け付けできないと言われてました。困った

など思いながら無事に生まれて、9月1日からの入園ができたわけなんですけど、後で滑り込みだったと言われました。

保育園を決めるにあたっては、最寄り駅の駅前にあったからというのが理由です。駅前のビルの2階と3階が保育園フロアになっていて、3階が認証、2階と3階の一部が同じ系列でやっている認可となっています。今うちの子はそっちの認可に行っているのですが、認証から認可に変わったといっても同じビルの中で変わったというだけなんです。

認証に入る前に見学には行ったんですけど、やっぱり保育園ごとに雰囲気は違うので見学は実際にした方がいいと思います。また、見学に行っていないと、認可の申し込みの希望書に書けないというようなことを見た気がします。

司会 5月にお子さんが生まれて、9月に認証保育園に入れたことが、認可に入れる上で加算要素になっていたんですかね。

Cさん 私の住んでいる区では、両親が共働きで働いているということが一番の満タンのポイントになっていて、その前に認証保育園に通っているというのはポイントとして公表されていないんです。ちょっと分からないですね。

司会 私が住んでいる区は最初に認証に入っているというのは、認可に入れる上で1つの加算ポイントになるので、区によっては隠れポイントとして存在しているかもしれないですね。

Bさん うちの場合には、上の子が今、幼稚園に行っているんですけども、もともとは認証保育園に行っていました。上の子は早生まれで、そもそも月齢からして、そのタイミングで認可保育園に入れるという選択肢は、最初からありませんでした。

ただ、妻が仕事に復帰する関係上、保育園には入れないといけなかったのが、最初から認証保育園をいくつか回っていました。10か所ぐらいは行ったと思います。結局空き待ちで入れたのは生まれる前から見学に行ったところだけでした。その認証保育園は私が居住

している区ではなかったのですが、途中で認可保育園に変わるという話が出てきて、そうなった場合、基本的に認可保育園のある区に住んでいる人じゃないと保育園に行けないという話になり、私の長男は、そのままだと行き続けられないので、移らざるを得ませんでした。

情報収集については、ありがたいことにほとんど妻が調べてくれたんですけども、基本的には先ほどお話があったとおり、直接役所に問い合わせたというのが非常に重要だったと思いますし、あとは個別に認証保育園に問い合わせるのもかなり重要だったと思います。昔から私立でやっているようなところでは全然電子化されていなくて、情報がオープンになっていないと思いました。電話をかけて聞いてみたら、そうだったのかということが出てくることがありました。直接問い合わせをしてみるとというのは結構大事なことなんだなと思いました。

下の子は今、上の子が通っている幼稚園と同じ施設内にある認可保育園に行っています。そこは枠が10名ぐらいしかなかったんですけども、上の子が幼稚園に通っていることが効いたのか、だいぶ倍率が高かったと思うんですけど、すんなり決まって行かせることができました。

司会 先生の場合、実際に見学をすることを重視されていましたが、向こうからしてもそういうのを見ていると考えた方がいいのかもしれないですね。

Bさん 顔を覚えてもらうと、空き待ちの状況が変わったときに電話で教えてくれたりするのです。

Dさん 私は見学に行った後、毎回お礼の手紙を書いていた。

Aさん 名刺を置いて、本当に切実なんです、みたいなアピールは大事だと思います。

私が9月の末に出産して年内にできれば仕事に復帰したいというのがあったので、母子手帳をもらう時に保育園の情報も一緒にもらってすぐに動きました。ただ、うちの近くには認証がなかったのが、最初から認可外での保

活を妊娠中からしていました。

区にもらったリストに、一部認可外のところも載ってはいるんですけど、自分でネットで情報を探してみると漏れているところとか結構あるんですよね。それで電話をして行って見て、でもやっぱり空きがあるところって意外となくて、本当に出産直前までずっと保活をしていました。幸い枠が空いた保育園に12月の頭から週に2、3回ハビリの的に預け始めました。認可は厳しいと聞いていたので、4月に入れなくても、このままでいけばいいやというぐらいで認可に一応出しました。幸い認可に4月に入れたので、今は認可に入れています。

司会 個人事業主であることで、困ったことは何かありましたか。



Cさん 個人事業主は育休中の給料も出ないところや、私は使っていませんが、土曜日の延長保育の際、シフト表を出さないといけないんですが、それもうまく定型にはまらないようです。自分はまだ直面していないけれども、みんなどうしているのかなというのを思うときがありますね。

2 他の保護者とのかわりについて

司会 皆さんは、保育園に行かれている、ほかの親御さんとお会いすることもあると思うんですけど、どういうふうに情報共有をされていますか。

Aさん うちママさんたちの中でLINEのグループを作って、本当に必要な事務連絡のときだけ行っています。あと、土曜日のイベン

ト後に多少話したりしますが、面倒くさい関係はもちろんないです。

司会 お父さんとしてのかかわり方はいかがでしょうか。

Bさん 保育園の方は、土曜日にイベントがしょっちゅうありました。環境的なところでも両親ともにすごく働いていてという人も多く、似たような人たちが来ているので、コミュニケーションは取りやすかったと思います。

イベントの後に仲のいいグループで集まって食事に行ったりというのもありましたし、一緒に習い事をしたりという交流もありました。上の子は、もともと行っていた保育園を出て幼稚園に行っているんですけど、今でも元の保育園に通っていた時の父兄との交流がありますね。認証保育園の場合には1から10まで全部先生がやってくれるので、もう出来上がった企画に乗っかるだけでよかったです。

司会 見に行くだけでよかったということですか。

Bさん そうですね。そこは会社がやっているところで、すごくサービスが行き届いていたんだと思います。一方幼稚園になりますと、基本は親の関与が非常に求められます。例えば劇をやる場合には、台本は父母の中で作ってくださいと言われて、ほかの親御さんが作ったものが回ってきていました(笑)。

司会 台本を書いた親御さんって、すごいですね。

Bさん 前のものがあるみたいなので、それを参考にしてやるみたいなんですけど、それにしても父母がやるようですね。

ちなみに今年は運動会の係がきたのでやりました。土日にやるんですけども、その前の日の金曜日に、全部セッティングをしますので、有給を取ってポールを立てたりだとか、園庭を掃除して、小さい小石を全部取ったりだとか、あとは井戸の周りのブロックを全部どかせて、井戸に近寄らないようにしたりとか、そういうのを父母で集まってやりました。

司会 金曜日にですか。

Bさん 幼稚園と保育園でかわり方という

のは、全く違うし、保育園に限って言っても、運営主体がどういうところかによって、かわり合いというのは大きく変わってくるんだろうなと思います。

Cさん 私のところは、ずっと0歳の時から同じようなメンバーできていて、変わったのは2～3人ぐらいです。わりと付き合いが長くなっているんですけど、あっさりしているものなので、迎えに行った時に同じ時間帯に迎えに行く親同士はよくしゃべるし、全く会わない人は全く会わないので、そういう意味ではよくしゃべる人と、そうじゃない人というのはあるのかなと思います。

初めのころは保育園の土曜日のイベントが終わった後とかにランチをしに行ったりとか、あとはお休みの日に区民館の1室を取って、ちょっと遊ぶ会をやるかとか、そういうことをやってくれる人がいて、それに乗っかって遊びに行ったりとかは、今もたまにしています。最近はそのなにもないですが、仲のいい子のお家にはたまに行ったりというぐらいで、あとは会えば世間話的なことはするという程度のわりとあっさりした感じの付き合いですね。どこの家の人が何の仕事なのかも分からないです。

4 弁護士会に求めるもの

司会 次に皆さんの中で弁護士会に、こういったサポートがあったらいいなという点をお話ししていただければと思います。

Dさん 委員会は参加の頻度によって二極化が進んでいるので、ちょっとだけの参加でもできるような形にすればいいかなと。

Bさん Skypeを活用することや会の運営でタイムスケジュールを決めてしまって、一部分でも参加できるみたいなやり方を導入すれば、かわれるかもしれないですね。

Cさん 弁護士会のシッター制度の上限が年間1万5,000円なんですよね。夕方以降研修に参加するためにも上限をもうちょっと広げていただきたいですね。



Aさん 病児の際の一般的なシッターの補助はやってくださると、すごく助かるなと思います。

司会 確かに病気にかかったときに、期日に行っている間だけ、ここで見てもらえないかなと思うときがあります。

Bさん 家庭で誰か1人がインフルエンザにかかるるとみんなにうつるので、一気に破綻するんです。なので、役所のように予防接種を打つためにお医者さんが来てくれて打つなどの制度があると助かります。役所では補助も出ます。

あとは、弁護士会ですぐどうにかできるという話ではないだろうとは思いますが、出廷するのにどうしても時間を要してしまう裁判について、自宅でも期日に出られるような制度があれば、ものすごく仕事がしやすくなると思いますので、そういった意見を裁判所に出してほしいなと思います。

5 育児にかかわる会員へのアドバイス

司会 最後になりますけれども、これから育児にかかわる会員に対するアドバイスをお願いします。

Aさん 私の事務所で、子どもがいる先生方は、短い時間の間でも、成果を出すだけのノウハウを持っているんですよね。

Todoリストを作るとか、基本的なことですけど、そういうことはやっぱり意識してやらないといけないと思います。もちろん性格によってやり方が違うんですが漏れがないようにするための工夫というのは不可欠だと思います。

ます。

Bさん この業界は激務なので、女性弁護士が工夫できる限界はあるだろうと思います。なので、男性の側からもどういうふうにすれば、女性弁護士が力を十分に発揮することができるかというところを、しっかり考えていくということが大事なんだろうなと思います。私の妻は結婚する前から弁護士をやっていて、実際子どもが生まれて、育児と仕事を妻が両立するようになるまで、どれくらい大変かというのが全然分からなかったです。

Cさん 出産する時に両立って無理だなと思いい、完璧を目指すことはあきらめました。仕事は優先順位が高いので、ちゃんとやることはやるというのはもちろんありますけど、例えば子どものご飯で野菜が一切なかったとしても、次に食べれば良いと思っています。だからそれぐらいの気持ちで、自分を追い込まずにやろうと思っています。気負わずに、もうなるようにしかなりませんので、そういう気持ちで出産されたらいいんじゃないかなと思います。

これもあれもやろうと思っていると、妊娠すること自体やめようかなというふうにもなってしまうし、そういうブレーキをかける必要もないと思うので、なるようにしかなりませんから、楽に考えてやっていくしかないんじゃないかなと思っています。

Dさん 出産する女性弁護士の方は、望まないのに仕事を辞めるという選択肢を取らないでほしいなと本当に思います。やっぱり出産すると、もちろん働ける時間ってすごく短くなります。そうすると、同僚に迷惑がかかるとか、事件をいっぱい受けられないとか、私も今、任期付公務員ですけど、夜に残れないので国会対応は全くできないので、みんながすごくばたばたして、深夜2時とかまでやっている中の6時半にすみませんって帰らなきゃいけないのは、確かにすごく自責の念にかられることはあります。

でも仕事って本当に辞めちゃったらそこで終わりになっちゃうので、どんなに迷惑をかけて申し訳ないなと思っても、何とか与えら

れた時間でパフォーマンスを上げることを考えるしかないと思います。でもそんなことができないことも多々あるし、育児で疲れている中、仕事をしているときもすごく眠くなっちゃって、時間が短いにはかどらないというときもよくありますが、だからってあきらめないでほしい。

じゃあ、シッターさんを使おうとか、家事サービスを使おうと思っても、どのシッターさんがいいのか、どの家事サービスがいいのか分からなくて、最初に一步を踏み出すことも面倒くさくなってしまいますが、どんどんいろいろなものを使って、いいのが見つかったらそれを選べばいいだけだし、お金で解決できることは、なるべくお金で解決しようというふうに割り切って、必要経費だと思ってどんどん使っていっていいと思います。

私の友人でも、普通に会社に勤めている友達と、ロースクール以降の友達で弁護士になっている友達とを比較すると、出産して辞めているのって、本当に弁護士になった友達がすごく多いと思います。

それは女性がどうこうという話じゃなくて、もっと大きな、男性も女性も含めて短期間ですり減るような働き方でいいのかというところになってくると思うので、弁護士だからといって昼夜問わず働いて当然でしょうということではなくて、きちんと人間として長期的に働けるような形で、何か起きたときに全てが嫌になってスイッチオフになるような業務の仕方をしないように、弁護士業界自体も変わっていったらいいなと思います。

司会 そうですね。どちらかというところ、弁護士業務では昼夜働くのが一番いいみたいな風潮は強いと思います。仕事なので、仕方がないところもあるんですけど、逆に働きづらく思ってしまう。どうやったら柔軟に働くことをみんなに理解してもらえるか、そういうことがまだまだ必要だと感じました。

本日は、充実した座談会になりました。どうもありがとうございました。 